

「令和元年版成果レポート」に基づく 今後の「県政運営」等に関する申入書

令和元年8月5日

予算決算常任委員会 委員長	小林 正人
予算決算常任委員会 副委員長	杉本 熊野
総務地域連携常任委員会 委員長	廣 耕太郎
戦略企画雇用経済常任委員会 委員長	東 豊
環境生活農林水産常任委員会 委員長	谷川 孝栄
医療保健子ども福祉病院常任委員会 委員長	中瀬古 初美
防災県土整備企業常任委員会 委員長	木津 直樹
教育警察常任委員会 委員長	田中 智也

「令和元年版成果レポート」に基づく
今後の「県政運営」等に関する申入書

令和元年三重県議会定例会 6 月定例会月会議で県議会に示された「令和元年版成果レポート」では、「みえ県民力ビジョン・第二次行動計画」の政策体系における施策及び行政運営の取組ごとに、評価結果を踏まえた施策等の進展度が示され、得られた成果と残された課題が検証されるとともに、令和元年度の取組方向が示されました。

県議会では、これを受けて、まず 6 月定例会月会議の各行政部門別常任委員会において、所管する施策及び行政運営の取組の調査を行った上で、7 月 12 日に予算決算常任委員会を開催し、各行政部門別常任委員会の意見を参考に、予算決算の観点から慎重に調査を行ったところです。

知事におかれては、次に掲げる予算決算常任委員会及び各行政部門別常任委員会の調査結果を踏まえ、今後の県政運営を行っていただきますよう、申し入れいたします。

1 誰もが安心して暮らすことができる社会づくりについて

令和元年度6月補正予算では、防災や介護など県民の皆さんの命と暮らしを守る取組をしっかりと進めるとともに、農林水産業や観光の振興など未来を切り拓くための取組にも果敢に挑戦する予算編成がなされました。

しかしながら、これまでに経験したことのない人口減少、少子高齢化が進展する中、社会における課題は複雑化しており、子どもや高齢者が当事者となる交通事故、登校中の児童等が殺傷される事件、児童への虐待など、県民の皆さんが不安を抱きかねない事件・事故が発生しています。

本県でも類似の重大事故・事件等が発生する恐れがあることから、これらを未然に防止するための対策については、部局間で連携し一刻も早く取り組む必要があると考えています。

また、新たな在留資格制度の施行に伴い、在留外国人の増加が見込まれることから、県議会においても外国人労働者支援調査特別委員会を設置し、外国人労働者が地域社会で共生していくための支援のあり方等について調査を行っているところです。生活、就労、教育支援など、外国人住民が暮らしやすい環境の整備についても、市町や国等関係機関と緊密に連携し、早急に対策を講じる必要があると考えています。

誰もが安心して暮らすことができる社会は、県民の皆さんが夢や希望を持って活躍し続けるための基盤となることから、県当局におかれましては、これらの課題解決に向けて、多様な観点から必要な対策を検討し実効性のある取組を展開されるよう要望します。

2 財政運営について

本県の財政状況は、「三重県財政の健全化に向けた集中取組」により、県債残高、経常収支適正度の目標を達成するなど一定の成果は見え始めたものの、今後も引き続き公債費等が高水準にあること、社会保障関係経費の増加が見込まれることから、依然として厳しい状況が続くことが見込まれます。

令和元年度で最終年度を迎える集中取組に基づき、歳入歳出両面における取組を進め、県有施設の見直しによる県民サービスの向上や維持管理費の抑制などを着実に推進することで、財政健全化の道筋を確実なものにするとともに、次期三重県行財政改革取組においても、持続可能な財政基盤の確立、財政構造の弾力性の向上をめざし、引き続き財政運営の改革に取り組むよう要望いたします。

「令和元年版成果レポート」に基づく
今後の「県政運営」等に係る意見

(各行政部門別常任委員会集約分)

総務地域連携常任委員会

施策番号	施策名	主担当部局名	委員会意見
251	南部地域の活性化	地域連携部 南部地域活性化局	県民指標である南部地域における転出超過数の目標達成は大変厳しい状況にある。的を絞って事業を実施するとともに、目標との乖離をどのように埋めるのか、定量的に取り組まれない。
			高校生を対象に実施している南部地域の定住に関するアンケートについて、進路選択に影響を与える親世代や小中学生の子どもたちを対象に加えることも検討されたい。
352	公共交通の確保と活用	地域連携部	鉄道やバスなど公共交通の確保にあたっては、地域住民にも必要な情報を提供し、厳しい現状を共有して利用促進の取組等を進めることが大切であると考えことから、地域住民など関係者とより一層情報共有を行い、交通事業者とも連携してしっかり取り組まれない。
354	水資源の確保と土地の計画的な利用	地域連携部	大規模災害からの迅速な復興には地籍調査が有効であることから、県民指標である地籍調査の実施面積の目標達成に向け、引き続き国に対し予算を要望するなど、少しでも進捗するよう取り組まれない。

行政運営

行政運営番号	施策名	主担当部局名	委員会意見
2	行財政改革の推進による県行政の自立運営	総務部	コンプライアンスの徹底に取り組む中で、新たに外部からの指摘で北勢福祉事務所における不適切な事務処理が明らかになった。職場内で自浄作用が働かなくなっている懸念があるため、事務の点検を行うなど、不適切な案件を明らかにできるような職場づくりに取り組まれない。

戦略企画雇用経済常任委員会

施策番号	施策名	主担当部局名	委員会意見
227	地域と若者の未来を拓く高等教育機関の充実	戦略企画部	これまで目標を達成していない活動指標「県内高等教育機関への県内からの入学者の増加数」について、目標達成に向け、具体策を検討し取り組まれない。
323	「食」の産業振興	雇用経済部	令和2年3月に設置予定のみえ食の“人材”育成プラットフォームについては、人材育成だけでなく、人材確保や育成した人材の県内定着にも取り組むことのできるプラットフォームになるよう検討されたい。
331	国際展開の推進	雇用経済部	三重タイイノベーションセンターについて、県内企業の成長など県民にメリットが生まれるよう、有効に活用されたい。
332	観光の産業化と海外誘客の促進	雇用経済部 観光局	三重旅パスポートや三重食旅パスポートで得られたデータを今後の観光施策に生かせるよう、効果的なデータ分析を行うなど有効に活用されたい。
333	三重の戦略的な営業活動	雇用経済部	平成28年度以降、三重テラスの来館者数が2年連続で減少しているが、来館者数は重要な指標であることから、これを軽んじることなく、来館者数の増加に向けて取り組まれたい。
341	次代を担う若者の就労支援	雇用経済部	いわゆるロスト・ジェネレーション世代の課題解決に向けた取組を検討されたい。 また、取組に当たっては、関係する他部局とも連携し取り組まれない。

環境生活農林水産常任委員会

施策番号	施策名	主担当部局名	委員会意見
142	交通事故ゼロ、飲酒運転0(ゼロ)をめざす安全なまちづくり	環境生活部	県民指標の交通事故死者数について、実績値が横ばいであるのに、目標値を「第10次三重県交通安全計画」の目標値と合わせて毎年引き上げているため、実績値と目標値が乖離している。令和2年度以降は目標設定を見直されたい。
			摩耗した黄色のセンターラインについて、一部塗り替えがなされたものの、三重県全体で必要とされている距離には及んでいないため、今後も取組を進められたい。
147	獣害対策の推進	農林水産部	ニホンジカの推定生息数は減少しているが、被害軽減の実感が伴っていない。次期行動計画の策定においては、人と獣の棲み分けの考え方を取り入れることについて検討されたい。
			侵入防止柵の隙間や破損箇所からの侵入による獣害被害の事例が増えているが、侵入防止柵設置後の補修や強化に対し、財政的な支援がないことが原因のひとつと考えられるので、今後の対応について検討されたい。
			内水面漁協が取り組むカワウ対策への県補助金が大きく減少している中、必要な対策が実施できるよう支援について検討されたい。
213	多文化共生社会づくり	環境生活部	外国人児童等に対するプレスクールについて、支援の財源として子ども基金や企業からの寄附金募集について検討されたい。
312	農業の振興	農林水産部	畜産物の輸出についてアジア経済圏に軸足が置かれた記述になっているが、これまで行ったブランド牛肉の米国プロモーションやEUをターゲットにしたミラノ博での県産食材プロモーションなど、過去の取組を総括し、今後の取組に生かすことを検討されたい。
313	林業の振興と森林づくり	農林水産部	公共建築物の木材利用については、新しい技術等によって中高層建築物にも木材が利用できる場面が広がっていることを県が実際に示してみせることが大切であるため、県有施設等での積極的な木材利用について検討されたい。

医療保健子ども福祉病院常任委員会

施策番号	施策名	主担当部局名	委員会意見
121	地域医療提供体制の確保	医療保健部	次期行動計画における当該施策の指標選定について、地域医療に係るさまざまな取組の成果が、県民にとって、よりわかりやすいものとなるよう検討されたい。
122	介護の基盤整備と人材の育成・確保	医療保健部	県民指標「介護度が重度で在宅の特別養護老人ホームへの入所待機者」の目標達成には、介護従事者のさらなる確保が必要であるため、人材の確保や離職防止への取組をさらに進められたい。
132	支え合いの福祉社会づくり	子ども・福祉部	策定中の地域福祉支援計画における県の基本的な考え方については、地域の実情を十分に反映されたい。
233	子育て支援と家庭・幼児教育の充実	子ども・福祉部	次期行動計画における当該施策の指標選定について、子育て支援や家庭・幼児教育の充実に向けたさまざまな取組の目的や成果が、県民にとって、よりわかりやすいものとなるよう検討されたい。
			子どもの貧困対策計画の策定に向けて、実態調査を行う際には、既計画の指標以外にも調査すべき事象がないか十分に検討されたい。
			県が子どもの貧困対策計画を策定することにより、計画策定が努力義務である市町においても、策定に向けた機運が醸成されるよう取り組まれたい。
234	児童虐待の防止と社会的養護の推進	子ども・福祉部	児童相談所の職員について、専門性や経験が求められる職場であることから、専門性の高い職員等を継続的に確保するよう取り組まれたい。
			児童虐待への対応において、要保護児童にとっては、児童養護施設等が担うべき役割が非常に大きい。三重県社会的養育推進計画の策定については、児童養護施設の実態等を十分にふまえた県独自のものとなるよう検討されたい。

防災県土整備企業常任委員会

施策番号	施策名	主担当部局名	委員会意見
111	災害から地域を守る人づくり	防災対策部	県立学校と地域とが連携した防災訓練の実施について検討されたい。
			実際の災害を想定するなど実効性のある防災訓練が自治会、自主防災組織等においても行われるように関係市町・機関等と連携して取り組まされたい。
113	治山・治水・海岸保全の推進	県土整備部	河川堆積土砂の撤去を重点的に実施されたい。また、市町管理区間の堆積土砂撤去についても県と市町との十分な調整を行われたい。

教育警察常任委員会

施策番号	施策名	主担当部局名	委員会意見
141	犯罪に強いまちづくり	警察本部	これまで特殊詐欺被害を防止するための対策として取り組まれてきた自動通話録音警告機の貸与事業は、未然防止に効果があったと認められることから、引き続き、この事業に取り組まれるとともに、市町と協力して幅広く高齢者宅等に設置されるよう取り組まれない。
221	夢や希望をかなえる学力と社会参画力の育成	教育委員会	<p>令和元年度における県民指標の目標値について、全国学力・学習状況調査で全国平均を上回った教科数が全教科の5とあるが、本当に可能なかというのが、教員や保護者の実際の声だと思われることから、実績を見据えた目標値を設定されたい。</p> <p>県民指標が達成できず進展度Cと判断しているが、活動指標は概ね目標を達成しており、県民指標と活動指標がかなり乖離していることから、次期行動計画では県民指標や活動指標の関連性などについてしっかりと検討されたい。</p>
223	健やかに生きていくための身体の育成	教育委員会	<p>県内の小・中学校における体力向上を図ることを目的に配置された元気アップコーディネーターが昨年度で廃止されたが、廃止されたことにより実績値が下がったとならないように継続して体力の向上に取り組まれない。</p> <p>本県は全国と比較して12歳児の一人平均のむし歯の本数が多い状況から、学校現場でのフッ化物洗口について安全性等の理解が得られるよう取り組まれない。</p>
226	地域に開かれ信頼される学校づくり	教育委員会	平成29年3月策定の県立高等学校活性化計画における小規模校の活性化については、今年度までの3年間の成果と活動について検証を行い、その後の方向性を検討することとされているが、各学校共にそれぞれの地域性を生かして頑張っているため、各学校の取組をしっかりと評価しながら検証されたい。